

令和7年度全国学力・学習状況調査 八雲町内の状況及び今後の改善方策

小学校数:6校、児童数:92人 中学校数:4校、生徒数:95人

○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

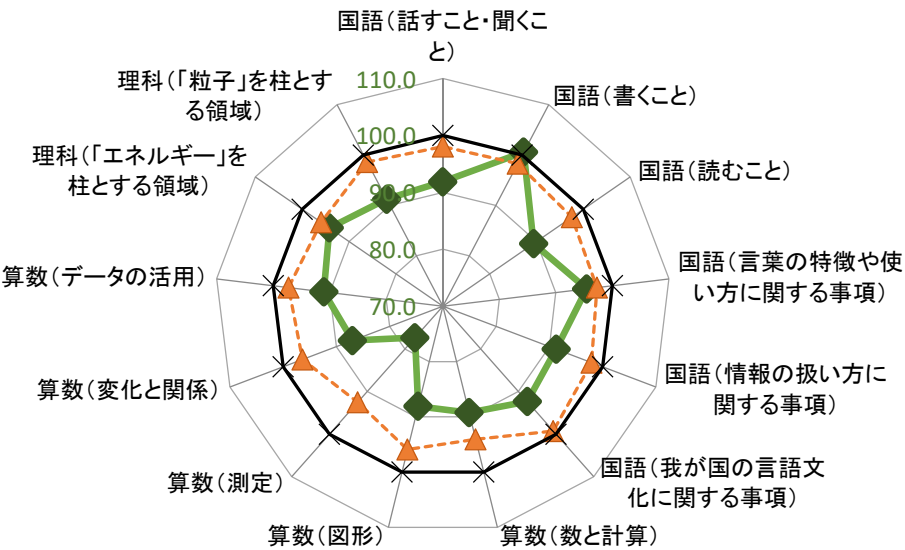
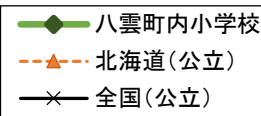
- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

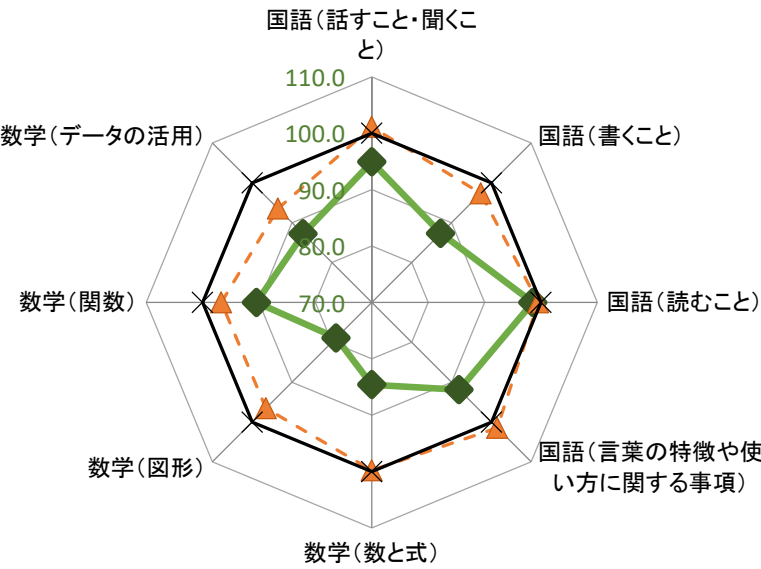
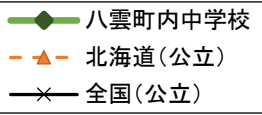
※中学校理科は平均IRTスコア

	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
八雲町	63	52	55	50	41	478
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国(公立)	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503

小学校



中学校

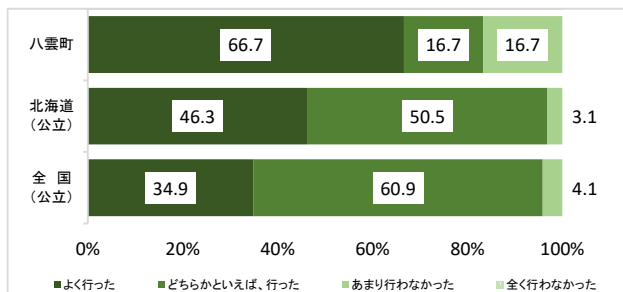


○ 質問調査の状況

小学校

<学校質問>

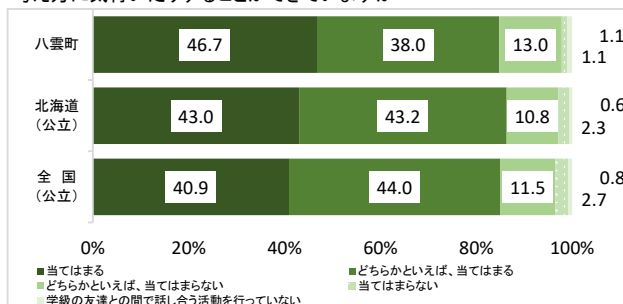
国語の授業において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるような指導を行いましたか



小学校

<児童質問>

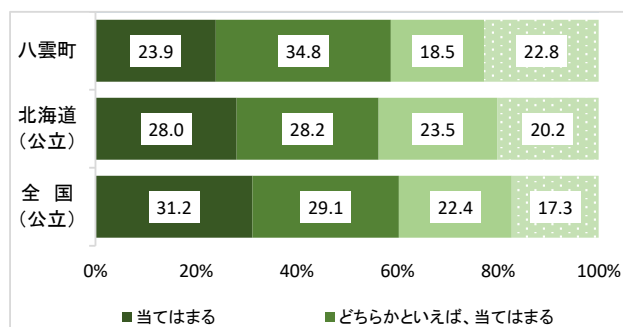
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



小学校

<児童生徒質問>

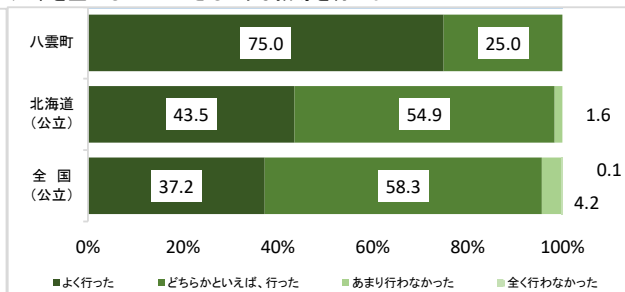
算数[数学]の勉強は得意ですか



中学校

<学校質問>

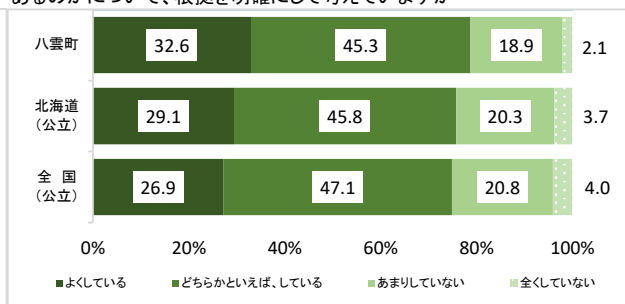
読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるような指導を行いましたか



中学校

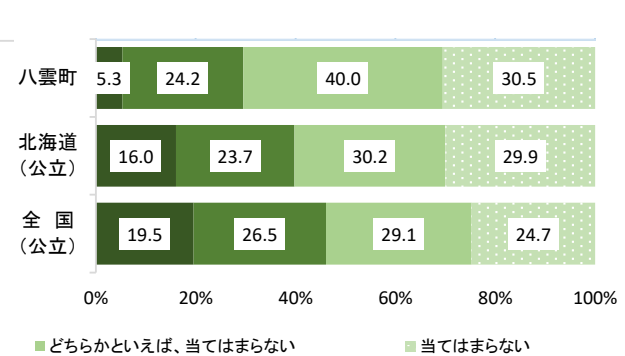
<生徒質問>

国語の授業で、文章を読み、その文章の構成や展開に、どのような効果があるのかについて、根拠を明確にして考えていると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。



中学校

<生徒質問>



○ 調査結果の分析

- 小学校において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるような指導を積極的に取り入れたことにより、国語科の「書くこと」の平均正答率が全国及び全道の平均正答率を上回ったと考えられる。

- 中学校において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるような指導を積極的に取り入れたことにより、国語の授業で、文章を読み、その文章の構成や展開に、どのような効果があるのかについて、根拠を明確にして考えていると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

- 小学校算数及び中学校数学の平均正答率が全国及び全道を下回っている状況は、算数[数学]に苦手意識をもった児童生徒の割合が全国の割合を上回っていることが、要因の一つとして考えられる。

○ 今後の改善方策

- 「基礎的・汎用的読解力」の育成に視点を当てた授業改善に係る共通実践事項「八雲スタイル」を推進する。

- 「八雲スタイル」を意識した1人1台の学習用端末の効果的な活用を推進し、算数・数学における「データの活用」の能力の育成を図る。

- 各中学校区内で目指す15歳の姿を共有した「小中一貫型コミュニティ・スクール」を推進する。